

5 シップセミナー

チームと個人のパフォーマンスを高める

リーダーシップ

フォロワーシップ

メンバーシップ

オーナーシップ

パートナーシップ

- 対象
- 若手から中堅社員、職場リーダー(主任、係長)の方
 - 組織・チームと個人のパフォーマンスを高めたい方
 - 「リーダーシップ」「フォロワーシップ」「メンバーシップ」「オーナーシップ」「パートナーシップ」に関心のある方

■ねらい

組織のフラット化やリモートワークによる仕事の個人化が進むなか、組織・チームとして高いパフォーマンスを発揮していくためには、役職・職位者がそれぞれの役割である「リーダーシップ」「フォロワーシップ」「メンバーシップ」を発揮することはもちろんのこと、メンバーの誰しもがその時々状況に応じて必要な「シップ(能力)」を発揮することが求められるようになってきました。

たとえば、「正式なリーダー職ではないが複数のメンバーをまとめる立場になった」「チームリーダーだが、新プロジェクトに1メンバーとしてアサインされた」といった場合など、自分がどの「シップ(能力)」を発揮して貢献すべきかを考えて振舞わなければ、チームは混乱してしまいます。

さらに、仕事のパフォーマンスを高める基本として「オーナーシップ」「パートナーシップ」といった能力も欠かせません。

これらの「5つのシップ」は無意識に行っていたかもしれませんが、本セミナーで改めて整理しなおし、これからは意識して適切な「シップ」を発揮していくことで、個人およびチームのパフォーマンスを高めていく人材になりましょう。

- 特長
- 「リーダーシップ」「フォロワーシップ」「メンバーシップ」「オーナーシップ」「パートナーシップ」の5つのシップ(能力)を整理・理解し、実践できるようになることで個人のパフォーマンスが高まりチームへ貢献力も高まります。
 - 多くのケーストレーニングを盛り込んだ実践型セミナーです。

■開催日時 [時間] 10:00 ~ 17:00

オンライン	2026年 5月28日(木)	大阪開催	2026年 7月15日(木)
オンライン	2027年 9月10日(木)	名古屋開催	2026年 10月21日(木)
大阪開催	2026年 11月27日(金)	オンライン	2027年 2月17日(木)

■開催会場

- 大阪開催 日本能率協会研修室 (大阪市北区梅田)
- 名古屋開催 日本能率協会 中部事務所 研修室 (JR名古屋駅直結)
- オンライン Zoomによる配信

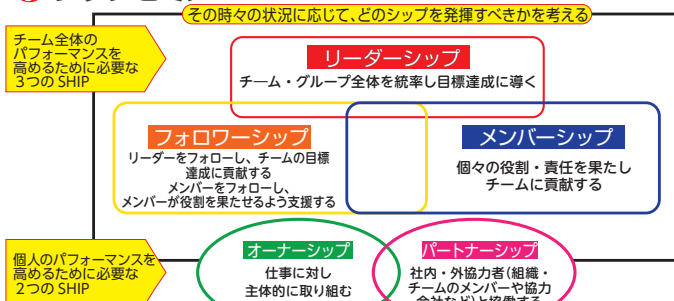
■講師 (敬称略)

中村 佳織 (株)リフェイス 代表取締役
中小企業診断士
一般社団法人日本能率協会 専任講師

■参加料(税込)

法人会員...60,500円/1名
会員外...71,500円/1名

5 シップセミナー ~持っておきたい2つのシップと使い分けたい3つのシップ~



プログラム 10:00 ~ 17:00 < 昼食時間 12:00 ~ 13:00 >

1. 身に付けたい5つの「シップ(能力)」

- ・5つものシップがなぜ必要なのか
- ・場面ごとに使い分けべき3つのシップ (リーダーシップ・フォロワーシップ・メンバーシップ)
- ・仕事のパフォーマンスを高める2つのシップ (オーナーシップ・パートナーシップ)

2. 自分の仕事の質とやりがいを高める「オーナーシップ」

- ・仕事を自分でハンドリングしよう
- ・仕事は「C+PDCA&G」で進めよう (Create+PDCA&Growth)
- ・成長や変化を実感できる仕事の仕方 (PDCAG: 経験学習思考)
- ・やりがいある仕事を自分で創り出す (C: 仕事の創造)
- ・自分の責任範囲を考えよう

3. 仕事をスムーズに進める「パートナーシップ」

- ・人と仕事をやる際に必要な要素
- ・NG 行動
- ・情報共有 (量・タイミング・範囲)
- ・相手との信頼関係 (相手への関心・話を聴く・オーナーシップの発揮)
- ・協力姿勢 (互いの仕事のしやすさを考える、win-win を目指す)

4. チーム全体を引っ張る「リーダーシップ」

- ・リーダーの役割
- ・メンバーに方向性を示す (目的・ゴール)
- ・メンバーのモチベーションを高める (プラス発言、仕事の価値を伝える、プロセス目標の設定)
- ・チームワークを作る (情報共有体制をつくる、1人1人に関与する)
- ・メンバーに指示をする (仕事の意味を伝える、相手への期待を伝える)
- ・メンバーの行動にフィードバックする (褒めることによる行動強化、注意することの必要性と注意点)

5. チームを目標達成に導く「フォロワーシップ」

- ・フォロワーの役割
- ・ありがちな3タイプのNGフォロワー
- ・リーダーからメンバーへの橋渡し (横からのアドバイス、1人1人に合わせたフォロー)
- ・メンバーの見本になる (ルール順守、率先行動、目標達成意欲、エンジョイメント)
- ・メンバーからリーダーへの橋渡し (現場の声や問題点をリーダーに伝える、解決策をアドバイスする)

6. チームの仕事を円滑にする「メンバーシップ」

- ・チームを乱すメンバーとは
- ・「オーナーシップ」× チーム目標へのコミットメント
- ・「パートナーシップ」× 多様なチームメンバーとの柔軟なコミュニケーション
- ・メンバーがリーダーを育てるボスマネジメント

*プログラムは変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

